



NEWS LETTER



連続自治体特別企画セミナー 年間計画

第3回 9月25日(木)

第4回 11月27日(木)

第5回 1月29日(木)

※第2回の順延日です

第6回 2月12日(木)

※時間は全て、15:00~17:15を予定しております。

◆ 詳細が決まり次第、ニュースレターやHP、Facebookなどでご連絡いたします

後援等について

KPIでは、共催や後援、協賛、協力というかたちで、地方自治体や企業、NPOと連携しながらイベント等を開催しています。

ご希望の方はKPIホームページの「諸手続き」にある、「後援等申請書」にご記入の上、メール又はFAXにてご連絡ください。

京都府立大学
京都政策研究センター
〒606-8522

京都市左京区下鴨半木町1-5

Tel & Fax : 075-703-5319

mail : kpiinfo@kpu.ac.jp

セミナーのご案内やニュースレターなどをメールマガジンで配信しています。ご希望の方は、上記メールアドレスまでご連絡ください。

2014年9月1日発行

これからの地方自治・地方政策を考える

連続自治体特別企画セミナー

第3回セミナーのご案内

「里山資本主義の自治体づくり・まちづくり」

9月25日(木) 15:00~17:15

場 所：京都府職員研修・研究支援センター 2F 視聴覚室

講 師：太田 昇(おおた のぼる)市長(岡山県真庭市)

対談者：宮藤 久士(みやふじ ひさし) 准教授(京都府立大学大学院生命科学研究科)

太田市長から...

真庭市は、2005年3月末に9町村が合併して誕生し、面積は828km²(香川県の約半分)、人口は5万人弱の市です。過疎・高齢化が大きな課題で、各地域の異なった地域特性(多彩性)と豊かな自然環境を活用して、地域の活性化に努めています。

特に、豊かな森林資源を活用し、バイオマス発電に取り組んでいます。既に銘建工業(製材会社)が設置している2000kw(毎時)のバイオマス発電所が順調に実績を出していることに加え、①エネルギーの地産地消が重要であること、②森林の活用と保全に繋がること、③発電と素材生産に従事する新たな雇用(100名を超える)が生じること、④電力買取制度により確実に採算が採れることなど、バイオマス発電所が大きな意義を持つことから、行政も加わった新会社により発電所(1万kw毎時)を設置することになりました。現在、2015年春の操業を目指し、建設中です。

真庭市では、官民を挙げたこの事業を契機にして、バイオマス産業都市の取組を進めています。

※お申込はメール、電話、FAXにて受け付けております。
また、ホームページでも年間計画をご覧ください。

第2回セミナーの延期について

7月10日(木)に予定していた「縮小時代の自治体経営-自律自治体の形成を目指して-」【講師：西寺雅也氏(名古屋学院大学教授/元岐阜県多治見市長)、対談者：川瀬光義教授(京都府立大学公共政策学部)】は、台風のため延期させていただきました。

このセミナーは、2015年1月29日(木)に第5回セミナーとして開催します。お申込につきましては、第4回セミナー後とさせていただきます。

ACTR

北前船寄港地フォーラムin宮津・京都が開催されました

宮津市は本学の包括協定先であり、KPIも今年でお付き合いが始まって4年目となります。かねてから宮津市と実行委員会が準備をされてきた西日本初の北前船寄港地フォーラムが、全国から多くの方が来られる中、7月25日に開催されました。KPIは昨年度、ACTRで「北前船寄港地・城下町まちづくりに関する調査研究」をテーマに、宮津市と協働してワークショップを開催し、北前船を活かしたまちづくりについて市民の皆さんと提言を発表したという関わりがあります。

今回は、KPIとしてはフォーラムに一参加者として参加させていただきましたが、宮津にゆかりのある本学公共政策学部2回生・3回生の学生が、パネリストとして登壇し、これからの宮津について、熱く語りました。



写真は左から、

- ・京都府との協働研究に関するヒアリング調査
(NPO法人サービスグラント)

- ・北前船寄港地フォーラムin宮津・京都

の様子。

京都府との協働研究

「プロボノに関する実態調査」に関するヒアリングを実施

8月5日(火)6日(水)と、東京でNPO法人サービスグラント、NPO法人ソーシャル・ベンチャー・パートナーズ東京、かながわ県民活動サポートセンターにヒアリングに行きました。NPO法人の2団体には、組織体制や資金の集め方、支援あるいは協働するNPOの選定基準/方法からプロボノワーカーとして活躍されている方のモチベーションについてなどを伺いました。サービスグラントは、具体的な成果物を6ヶ月という短期間で提供しており、成果物のイメージが出来ているためにNPOが期待する成果とのミスマッチを防ぐ仕組みを持っていました。一方で、SVP東京は2年間コミットするという点で、より深いNPOとの関わりや、時系列にそった、その時々に応じた支援を実現していました。

かながわ県民活動サポートセンターでは、自治体で初めてプロボノを導入された経緯や、自治体としての関わり方などについてお話を伺いました。神奈川県のプロボノ事業は東日本大震災への対応で一時ストップしましたが、その後の事業を通じて、現在横須賀でプロボノ実践に向けた動きが芽生えています。

今後は、他の事例に関するヒアリングも交えつつ、報告書作成に取りかかる予定です。

共催セミナー

「公共施設は誰のものか？」

～つくらない時代の地域デザインを考える～

10月22日(水) 16:30～19:15 (会場16:00)

場 所：京都府立大学 稲盛記念会館 104講義室

講演① 足立文氏(株)日本経済研究所 社会インフラ本部 公共マネジメント部長

「公共施設マネジメントとこれからのまちづくり」

事例紹介 ～今治市の取り組み～ 田頭篤氏 今治市企画課主事

講演② 青木茂氏(株)青木茂建築工房 代表取締役

「リファイン建築と公共建築物」

パネルディスカッション

コーディネーター 青山公三(京都府立大学公共政策学部教授)

パネリスト 足立文氏、青木茂氏、秋山直人氏(今治市企画課課長)

川勝健志(京都府立大学公共政策学部准教授)

★終了後、大学内に懇親会を開催します。

★お申込先は日本経済研究所です。後日KPIホームページに掲載するチラシをご覧のうえ、日本経済研究所にご連絡ください。

左京区受託研究

久多地域でワークショップ「久多の夢を語る会」を開催中

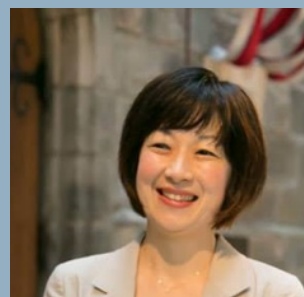
KPIでは今年度も久多地域でワークショップ(久多の夢を語る会：以下、語る会)を開催しています。今年度からは、センター長の青山に代わり、語る会の進行役を住民の方をお願いしました。

語る会を開始して今年で2年目ですが、ボランティア乗合タクシー(愛称が「やまびこ号」に決定!)の運行の実現や、空き家対策チームの結成と活動開始等、着実に前に進んでいます。こうした取り組みは既に、ほぼ住民の方が中心となって動いており、語る会は課題を話し合う場から、それぞれの現在の状況を報告する場へと、その役割が変化しています。

報告

KPIリレーコラム

今回は、今年度ACTRに共に取り組ませて頂いている、男女共同参画推進室のコーディネーター・鈴木暁子さんに登場頂きます!



男女共同参画推進室

鈴木 暁子

個人的な話になりますが、先日、前職でお世話になった女性の「50周年生誕祭」に出席しました。案内されたのはレストランではなくホテルの中にある結婚式場。若干、戸惑いながらオープニングを待っていると「アナと雪の女王」のテーマソングが流れ、ウェディングドレスの女性が登場!50年の人生を振り返るスライドの上映に続き、ケーキカット、祝辞、最後にはブーケトス。学生時代の恩師、友人や仕事仲間と今までの生き方を褒めあい、そしてこれからも支えてね!と宣言する、おひとりさまの結婚式風「謝恩会&支え合い宣言」でした。

30代半ばで社会人入学した経験をきっかけにキャリアを切り開き、軽やかに歳を重ねていく女性の姿から、「性別にかかわらずいつでも多様な生き方を選択できる社会」の未来が垣間見えて、ワクワクしました。

★9月8日～19日は女性の活躍を促進する「シャイン・ウィークス(Shine Weeks)」。日本各地で関連イベントが行われます。詳しくは推進室のホームページをご覧ください。



KPIのfacebookにアクセスして情報をチェック!

<http://www.kpu.ac.jp>